

解答別紙

2006年度

「政治学」

(月曜3限開講 担当：宮下大志)

学年末試験 問題用紙

2007/1/29 (月) 3限実施

披見：否

注意事項

1. この試験では、問題用紙と解答用紙が別になっている。
2. 時間になるまで問題用紙の次ページ以降の内容は見ないこと。
3. 試験開始以前に、解答用紙に必要事項（受験者の所属や氏名等）を記入しておいてもかまわない。ただし、学生証の提示、受験カードの記入等、試験監督の指示を優先すること。言うまでもなく、必要事項以外の書き込みは不正行為となるのでしないこと。
4. この問題用紙は、表紙も含めて、片面印刷で4ページである。試験開始時間になったら、乱丁・落丁がないかを確認した上、解答を始めること。
5. 問題用紙は回収しないので、各自持ち帰ること。
6. 全く解答不能の場合でも、答案用紙は必ず提出すること。
7. 答案用紙の表の面に書ききれない場合には、裏面に書いてもかまわない。ただしその際には、解答用紙に指示されている方向から書きはじめること。
7. 不正行為があった場合、あなたの将来に大きな影響を及ぼすことになるので、不正行為は絶対にしないこと。
8. 文字は読みやすい字を書くよう、心掛けること。
9. 問題に答えず、ただノートの内容を再現しただけの答案には単位が与えられないので、ちゃんと問題に答える形で答案を書くこと。
10. 優秀な答案を作成した者には、後日氏名を発表して表彰するが、氏名の公表を望まないものは、解答用紙冒頭に、その旨明記すること。

問題本文

あなたは、2037年の日本にいる。あなたももう、50歳を過ぎようとしていた。あなたが大学で宮下先生の「政治学」の試験に悪戦苦闘していたのはもう30年も前のことだった。そして、いま、30年のときを経て、地球に地球人による自治が回復されようとしている・・・

えっ？どういうことかって？・・・じつは、あなたが「政治学」の単位をなんとか取得して何ヵ月かした頃、ケロロ軍曹の「ペコポン（地球のことです）侵略計画」がなぜか成功してしまい、地球は30年近く、ケロロ軍曹らケロン人の軍事政権の支配のもとにおかれてしまったのである。

ところがつい最近、ケロロ軍曹ら支配層が、30年ほど前に地球の両生類を激減させてしまった「ツボカビ症」（知らない人は30年前の2007年1月12日付け朝日新聞朝刊1面を参照）に感染し、地球に進駐していたケロン人は絶滅してしまったのだ。どうやらツボカビは、30年の間に変異を遂げ、ケロン人にも感染するようになっていたようなのだ。

さて、地球人はようやく「ケロン人のくびき」から解放された。あとは自分たちで自分たちの政治をつくりあげてゆくだけである。

ところが・・・そこに問題が生じた。なぜなら・・・

地球人は一世代の間、ケロン人の軍事政権である「ペコポン統治評議会」のもとで支配されていたため、自分たちで自治を行うことをなかば忘れてしまったのである。

50歳以上の人間は、一応政治に参加して選挙で投票した経験はあるが、当時「若年層の政治離れ」がいわれただけあって、真剣に政治のことを考えていた人はあまり多くない。まあ、80歳近くの人々は、一部には真剣に政治のことを考えていた人もいないわけではないが、政治活動をするには歳をとりすぎている。なお、宮下先生は認知症が進み、政治の話をして「ああ、それは食べたことがある」といったようなとんでもない答えが返ってくるということを何年か前、友達から聞いた気がする。

一方、50歳以下の人間は、中にはまじめに「公民」や「政治経済」、あるいは「現代社会」を勉強した人もいないではないが、いかんせん、実際の政治に関わった経験を持たない・・・

そんな状況ではあるが、遙か昔、宮下先生の「政治学」を履修したあなたとしては、やはり地球に、いや少なくともあなたの住んでいる日本には、民

民主主義を以前よりもよりよい形で復活させたい。

そしてあなたは、そのための政治活動を開始することを決意した。

なお、2037年の社会状況であるが、ケロン人は独裁の常套手段である「分割して統治せよ」の原則で地球を支配していた。地球人を差別（区別？）して、格差をつけるのである。優遇すべき人は優遇して手なずける。そして、支配の道具として使う。優遇された人間は、少なくとも表面上は、自分たちの優位が保証される分だけ、支配に協力するからである。

一方、弱者は弱者として捨て置かれる。それは、ケロン人支配に協力しないとこんな目に遭う、という見せしめのためである。

まあ、ケロロに支配される以前の日本も同じように「格差社会」だった気もするが、あなたも50の坂を越えているので、細かいことは覚えていない。

このように、政治活動を始めたあなたである。先ほども触れた通り、独裁をする気はまったくなく、できれば宮下先生の教えを生かして、30年前よりもよりよい民主主義をこの日本に定着させたい。もちろん、ケロロ支配以前と同様に、私利私欲で政治活動を始めた輩もたくさんいるし、ケロン人支配に協力して優遇されていた輩も、自分たちの保身をはかろうと政治活動を始めている。そういった人々を排して、よりよい民主主義を日本に定着させるのがあなたの使命なのだ。

さて、どんなことを人々に訴えて政治活動をすれば、「以前よりもよりよい民主主義」の実現が図れるのだろうか？

さあ、「あなた」の訴える政策、そして支持拡大のための戦略を解答用紙に展開しなさい。

答案を書く際には、以下に挙げた12の語のうち少なくとも7つ以上をそのまま使って、解答すること。そして、それらの語をそれぞれ最初に使った箇所では、その語を で囲むこと。もちろん、下記の語群以外にも、この講義の内容を参照しながら、多角的に論じることが望まれる。

また、問題文に記されている以外の、「ケロン人支配」の終焉の時の政治・社会・経済状況については、問題文の状況設定に矛盾しない限り、あなたなりに状況設定をしてよい。

語群：

(省略)

なお、「就職が決まっているので単位がほしい」など、個人的な事情を述べて単位を懇願する記載のある答案は0点とする。時間に余裕のある場合は、講義・試験についての感想を末尾に書いてほしい（ただし、採点対象にはならないので、時間のない中、無理に書いてくれなくてもいい。後に会った時にでも聞かせてくれれば、あるいはK-Smapyのフォーラムにでも投稿してくれれば、その方がいいだろう）。

また、私は別に「ケロロオタク」ではなく、たまたま娘の見ていた番組からこの問題の設定を思いついただけであり、もしも本来のストーリーと矛盾する点があれば、容赦してほしい。

さらに、言うまでもないことだが、成績判定に当たって『ケロロ軍曹』を知っているかどうかで有利・不利になることはまったくくない。ただこの設定で解答してくれればよいだけである。